

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月18日

【評価実施概要】

事業所番号	871200390		
法人名	有限会社 修明		
事業所名	グループホーム 和み		
所在地	常陸太田市下河合町953-1 (電話) 0294-70-0753		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年7月19日	評価確定日	平成20年1月8日

【情報提供票より】 (平成19年7月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	7人 非常勤4人, 常勤換算6.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	44,000 円	その他の経費(月額)	1,830 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,100 円	

(4) 利用者の概要 (7月21日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名	
要介護1	2	要介護2	9			
要介護3	5	要介護4	2			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	84歳	最低	67歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	志村大宮病院 日立梅ヶ丘病院 西山堂病院 佐竹南台菜の花クリニック やまぶきクリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者と職員はグループホームに関わる法令の意義を理解し、「最良な環境で最適な介護、満足されるサービスの提供、生きがいを謳歌する人生」の運営理念を掲げ日常的に確認するとともに、理念の実現に向けた支援を行っている。
また、地域の文化祭やお祭りなどに参加するとともに、ボランティアとして地域の清掃活動に参加するなど、地域の人たちと交流する機会を設けている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の自己評価や外部評価での主な改善課題について、具体的な改善計画を作成し、改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員が自己評価、外部評価の意義を理解している。 評価を実施して見えた課題について、具体的な改善計画を作成し、改善している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は情報交換にとどまらず、委員から率直な意見を聴き、意見をケアサービスの向上に活かしている。 市の担当者には、事業所の実情やケアサービスへの取り組みを折に触れて伝えている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族等には意見や要望を自由に言ってもらえる機会を作っている。 また、意見箱を設置し、幅広く意見や希望を聴取している。 利用者の暮らしぶりや健康状態などについて、きちんと記録し、家族等の来訪時にデータを明示し、細かく説明している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入するとともに、地域の文化祭やお祭りなどに参加している。 また、ボランティアとして地域の清掃活動に参加するなど、地域の人たちと交流する機会を設けている。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域生活の継続支援と事業所と地域の関係強化を理念に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時に必ず理念を伝えるとともに、理解を求めている。 職員は理念を日常的に確認し、共有するとともに日々のケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入するとともに、地域の文化祭やお祭りなどに参加している。 また、ボランティアとして地域の清掃活動に参加するなど、地域の人たちと交流する機会を設けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価、外部評価の意義を理解している。 評価を実施して見えた課題について、具体的な改善計画を作成し、改善している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は情報交換にとどまらず、委員から率直な意見を聴き、意見をケアサービスの向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者には、事業所の実情やケアサービスへの取り組みを折に触れて伝えている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態などについてきちんと記録し、家族等の来訪時にデータを明示し、細かく説明している。 また、ホーム便り「和み」を発行し、家族等に広報するとともに金銭管理報告を定期的に行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等に意見や要望を自由に言ってもらえる機会を作っている。 また、意見箱を設置し、幅広く意見や希望を聴取している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は利用者と親密な関係を築けるようコミュニケーションを図っている。 職員が退職や異動するときは、事前に職員を採用するなど、引継ぎや職員と利用者との関係づくりを行い、利用者のダメージを最小限に抑えるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は常に職員の育成に力を入れ、職員の能力に応じた研修計画をたてるとともに、内外の研修会等に受講できるよう配慮している。 研修受講後は報告書にまとめ、全員で報告会を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は職員が他の事業所職員と交流したり、サービス向上に活かせるよう、全国や県、市内のグループホーム協議会に加入し、研修会等に派遣している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用予定者にサービスを提供するにあたり、家族等とよく相談するとともに、ホームの環境に馴染んでから利用できるよう配慮している。 職員は利用者と積極的にコミュニケーションを図り、人間関係づくりに誠意を持って対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として尊重するとともに、生活協働体としての役割を持てるよう場面づくりや声かけをしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思い、暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 意思の疎通が困難な方には、家族等を交え本人がどこで、誰と、どのように暮らす事が最良なのかを検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本位のより良い暮らしを実現するため、本人や家族からの要望などを聴き、職員全員で話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、利用者の課題の達成状況の評価したり、介護記録を参考にしながら、職員に意見を聞いて作成している。 また、利用者の状態の変化が見られたときは、随時の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や送迎、緊急時の対応など、利用者や家族からの要望や希望に応じて、臨機応変に対応している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望に応じて、かかりつけ医や協力医に月2回、診察を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化について事業所の対応方針や方法など、職員と話し合いを行っている。 また、意思確認書を作成し、利用者や家族に説明するとともに、意思確認書を取り交わしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねない支援について、勉強会やミーティング時に話すとともに、日々のかかわり方をリーダーが点検するなど、対応の徹底を図っている。 職員は個人情報保護法の理解に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは作っているが、利用者一人ひとりの体調や気持ちを尊重し、個性のある生活が送れるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、食事の準備や調理、後片付けなど、利用者ができる事を、声かけなどで促すとともに、一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者一人ひとりの希望や生活習慣に合わせて、支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりが張り合いを持って生活できるよう利用者のしたいことや役割等の希望を聞いて、日常生活に取り入れている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩、ドライブ等、利用者一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、柔軟に対応している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は利用者一人ひとりの動向について気を配り、見守りを徹底することにより、日中は鍵をかけないケアを実践している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成するとともに、年2回消防署の指導を受けながら、利用者とともに避難訓練、避難経路の確認、消火器等の使い方など訓練を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養や水分摂取量をチェック表に記録している。 また、栄養バランスの取れた食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の各所に利用者の作品や写真を展示している。 居間に花や額、好みの品々を飾るなど、家庭的な雰囲気づくりを心がけている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物を自由に持ち込んでおり、本人が居心地よく過ごせるよう環境づくりをしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。